

# 擧

～けやき～

成田市立中台中学校 学校だより

文責：内田 淳

令和6年 2月16日(金) Vol.40

学校教育目標 『自ら学び、豊かな心を持ち、たくましく生きる生徒の育成』

「仲間も、自分も、大切にしよう」

「あきらめずに、取り組もう」



【ホームページへ】

## 位置について…用意！

公立高校の入試を控えた3年生に、ぜひ心に留めてほしい内容をまとめました。これらは、定期テストを目前に控えた1、2年生にも通じるものがあるでしょう。一人ひとりが、全力を発揮できますように。

### 【前日まで】

#### ①夜更かしをしない

朝、すっきりと起きるためにも、早めに就寝しましょう。（なかなか眠れないときは、温かくして、布団に横になっているだけでもよいのです）。

### 【入試当日】

#### ②深呼吸をして落ち着く

まず必ず記名をして、できる問題から解きましょう。名前を書いて深呼吸しても、30秒もかかりません。

面接は、練習どおりにできれば、きっと大丈夫。明るく元気に話せば、思いは伝わるはずです。

#### ③周囲に惑わされない

会場では、互いに「あの人、頭よさそうだなあ」等とってしまうもの。でも、もしかしたら、あなたも、周囲から「あの人、頭よさそうだなあ」等とされているかもしれません。周囲に惑わされず、自分の努力を信じましょう。

#### ④自分の力を信じる

「私ほど勉強をしてきた人間はいない！」……それぐらい自分に言い聞かせ、自分を励まして、高めていきましょう。もしも難しい問題に出くわしたとしても、他の人もみんな同じように難しく思っているものです。ぎりぎりまで、自分の力を信じましょう。

#### ⑤あきらめない

空欄を残さないように、とにかく埋めることを心がけるとともに、解きやすい問題から解きましょう。また、時間内に終わったとしても、寝たりせずに、最後まで見直しをしましょう。

#### ⑥振り向かない

済んだことは振り向かず、次に向けて気持ちを切り替えましょう。廊下で新鮮な空気を吸ったり、次の科目の確認をしたり。「さっきの教科、問3が合ってるか心配…」等と「過去」を心配するより、迫り来る「未来」をしっかりと見つめましょう。

### 【入試終了後】

#### ⑦家に着くまでが入試

試験が終わったら、まずはまっすぐ家に帰りましょう。家族も、無事に帰ってくることを、きくと心待ちにしています。

#### ⑧結果を心静かに待つ

「人事を尽くして天命を待つ」という言葉があります。やるべきことをやったなら、あとはひたすら、信じて待つだけです。そして、どんな結果であろうとも受け止められるように、心の準備をしっかりとしましょう。受験が終わってからの、本当の勝負なのです。

## 焦らず、たゆまず

11日(日)、印旛郡卓球大会一年生大会において、本校女子卓球部が、3位に入賞しました。緊張する中での試合でしたが、予選リーグを2位で突破して決勝戦に進出。強豪校を相手に善戦しました。賞状を掲げて、誇らしげに満面の笑みをたたえています。

入部から早10ヶ月。焦らず、たゆまず、練習を積み重ねてきた成果が現れています。これからも、仲間と支え合いながら、着実に前進してほしいです。あと2ヶ月ほどで、春の大会です。



## 作品がもつ力



成田市 選挙啓発書き初め展	金賞		
	銀賞		
二部会書き初め展	特選賞		

優秀作品として、〇〇さん、〇〇さん、〇〇さんの作品は、成田市役所に、〇〇さんの作品は、中央公民館にそれぞれ展示されていました。おめでとうございます。

得意なことをさらに伸ばし、自信をつけて、ますます活躍してほしいですね。

展示会場では、たくさんの方が鑑賞していました。上手な書写の作品を見て、「私も頑張ってきちんと書かなきゃ」という気持ちに駆られる人もいることでしょう。いい作品は、誰かの背中を押し、心を動かすほどの力を秘めているのです。

## 体験を積み重ねて

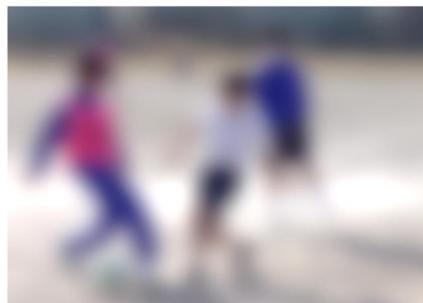
様々な学習の形があります。言葉や、数学・理科の定理、地理や歴史など、知識を覚えたり、それを基に活用する学習もあれば、実際に実験したり体験したりして、学んだり発見したり、または完成を目指したりする学習もあります。机上の勉強以外に、生徒はいろいろなことを体験しています。



【音楽の授業では、日本の伝統音楽を学習。まずは箏を体験しました。つま弾けば音階を奏することができるので、「さくらさくら」を弾くことができた生徒もいて「おお……」と感動や賞賛の声が、そこかしこから聞こえてきました。雅やかで高貴な授業でした】



【数学の授業。円内には投げられた十円玉。確率を検証すべく、何十回もコインス。両方表になる確率は、さてどうなりますか？】



【男子は体育のサッカーに夢中。得手不得手を乗り越えて、声を出して駆け回ります。子どもは風の子、ボールは友達！】



【授業中に骨折！？と思いきや、応急処置の方法を学習する2年女子の保健の授業。よく見ると、三角巾ではなくレジ袋を裂いて首にかけて、腕を吊っています。段ボールや教科書などを添え木として活用することもできるとのこと。目から鱗が落ちました】



指で弾いた弦の弾力、吊った腕の重さ、蹴ったボールの硬さ、手のひらで包んで振った硬貨の質感。他にもこれまでに、粘土をこねたり、木を削ったり、幼稚園児の手を握ったり……生徒は、いろいろな感触を体験しています。その体験から分かったこと、感じたことが、心を耕し、豊かにしているのでしょう。そして、その体験こそが、「学校で、集団で学ぶ意味」であると考えます。

これからも、様々な経験ができるような仕掛けを増やしていきたいものです。また、その活動を通して、自分の考えを持ち、それを伝え合って学び、それをまた別の活動で生かすようなサイクルを、これからも維持し、高めていきたいものです。

一人でも多くの生徒が「みんなで学ぶのも面白い」と感じられるように、これからも授業を工夫していきます。